スポーツニッポン
スポーツニッポン新聞社　大阪本社 ☎06（6346）8500
〒530-8278 大阪市北区梅田3の4の5　©スポーツニッポン新聞社2019（日刊）
昭和24年2月10日
第3種郵便物認可
http://www.sponichi.co.jp/
2019年（平成31年）1月26日【土】友引
第25051号　10版北
スポニチ 70th Anniversary

PLAY
自分を遊べ、世界を遊べ。
パチンコ＆スロット
Venus Gallery
ヴィーナスギャラリー
いつか、やろうを
いま、やろう。

気勢を上げる穴水主将（前列中央）ら啓新ナイン

星稜　センバツ　啓新

2年連続13度目

初出場

3・23開幕 出場32校決まる

第91回選抜高校野球大会（3月23日開幕、甲子園）の出場32校を決める選考委員会は25日、大阪市北区の毎日新聞大阪本社オーバルホールで開かれ、昨秋の北信越大会で優勝した星稜（石川）は2年連続13度目、同準優勝の啓新（福井）は創部8年目で春夏通じて初出場を果たした。組み合わせ抽選は3月15日に行われる。【関係記事4、5面】

創部8年目 春夏通じて初の聖地へ

「考えて動く」野球でまず1勝

早いのか遅いのか……。さまざまな思いが交錯する中、啓新は創部8年目での甲子園初出場。待ちわびた吉報に福井市にある学校も歓喜に沸き返った。

東海大甲府（山梨）を指揮して春夏合わせ11度の甲子園出場を誇る大八木治氏を初代監督に招き2012年4月に創部。荻原昭人校長は積極的に支援を続け、冬の北陸地方では不可欠な室内練習場を同年9月に整備。14年には寮と坂井市丸岡に専用グラウンドを完成させた。それでも、敦賀気比や福井工大福井といった強豪私学に伝統校の福井商がいる県内においては簡単に勝たせてもらえず。創部1年目の12年秋に福井大会3位に入ったものの、その後も準決勝の壁を越えることができず。福井の頂点に初めて立ったのは17年春だった。

18年4月から大八木氏の教え子である植松照智監督（39）が指揮。恩師の「考えて動く」野球をさらに進め、的確なアドバイスで選手のやる気を引き出した。昨秋は福井大会3位から北信越大会に出場。準決勝の上田西戦では3点を追う7回に4点を奪って逆転勝ちするなど一戦ごとに強くなった。昨年12月のクリスマス会にはOBの牧丈一郎（現阪神）からお菓子の差し入れが届くなど、選手たちも周囲の期待の大きさを感じ取っていた。

13年創部のソフトボール部も強豪で、昨年はインターハイと福井国体の2冠を制した。主将の穴水芳喜捕手（2年）は「自分たちも負けていられない。出るだけではなく、甲子園では1つでも多く勝ちたい」と新たな目標を掲げる。旋風を巻き起こすべく、堂々と甲子園に乗り込む。

◆**啓新**　福井精華女子学園を母体として1962年に福井女子高等学校として開校された私立校。98年に現校名となり男女共学に。野球部は2012年4月創部。主なOBに牧丈一郎（阪神）ら。

◇啓新の昨秋公式戦成績◇

大会・回戦	スコア	相手
福井1回戦	○10⑤0	武生東
2回戦	○7⑧0	鯖江
準々決勝	○8⑦1	足羽
準決勝	●5―6	金津
3位決定戦	○3⑩2	若狭
北信越1回戦	○6―2	富山第一
準々決勝	○3―2	遊学館
準決勝	○4―3	上田西
決勝	△2⑮2	星稜
再試合	●4―7	星稜

※○数字はイニング

センバツへ、日本一へ意気込む星稜ナイン（撮影・後藤大輝）

エース奥川だけじゃない!! 悲願日本一へ投打成熟

競争でさらなる高みへ

もはや「出る」ことが目標ではない。星稜ナインの燃えたぎる思いを、自身は3季連続出場となる主将の山瀬慎之助捕手（2年）が代弁した。

「目標はもちろん日本一です。普段から意識してやってきました。自分は打撃でも守備でも、日本一に貢献したい」

頂点は明確に輪郭を帯びてきた。今秋ドラフト1位候補の150キロ右腕・奥川恭伸投手（2年）をはじめ投手陣は豊富で、攻撃陣も俊足巧打のリードオフマン・東海林航介外野手（2年）、1年生4番の内山壮真内野手ら旧チームから甲子園経験者が多く残る。

昨秋は順当に石川大会を制し北信越大会でも優勝。神宮大会は準優勝に終わったが、今大会は優勝候補の一角に挙がる。昨秋公式戦11試合でチームトップの8盗塁を記録した東海林は「奥川が打たれても、打者陣が打って勝つ。日本一を目指してチーム全体が意識を高く、やっています」と表情を引き締めた。

昨年末には星稜史上初めて沖縄合宿を敢行。チーム全員が同じ量と内容の練習を行うことで競争意識を高めた。林和成監督（43）も「チャンスは全員同じ。いい練習ができたと思います」と収穫を口にした。

金沢では降雪などの影響で室内練習場での練習がメインとなるが、木製バットでのティー打撃を重点的に行い、全国の好投手を打ち込むべく、振る力を高めている。

夏は1995年に準優勝を果たしたが、春は12度出場で昨年を含む3度の8強が最高成績。山瀬主将は「練習から〝日本一の練習〟を意識しています。アップ、キャッチボール、ノック。どうしたら日本で一番の練習ができるかを考えています」と常に頂点を見据える。平成最後の甲子園。星稜が新たな歴史を刻みに行く。

◆**星稜**　1962年創立の私立校。野球部も同年創部。甲子園には72年夏に初出場し95年夏に準優勝するなど通算27勝（春8、夏19）。主なOBに松井秀喜（元ヤンキース）、小松辰雄（元中日）、山本省吾（元近鉄）ら。

◇星稜の昨秋公式戦成績◇

大会・回戦	スコア	相手
石川2回戦	○6―0	金沢錦丘
3回戦	○8⑦0	野々市明倫
準々決勝	○13―4	金沢
準決勝	○8⑦0	鵬学園
決勝	○7―0	遊学館
北信越1回戦	○9⑦0	関根学園
準々決勝	○11⑤0	松本第一
準決勝	○4―0	東海大諏訪
決勝	△2⑮2	啓新
決勝再試合	○7―4	啓新
明治神宮準々決勝	○9⑦0	広陵
準決勝	○7―4	高松商
決勝	●1―2	札幌大谷

※○数字はイニング

YellowHat
タイヤを選ぶならイエローハット

星寿亭
おいしいうどんだし
2人前×5袋入 10人前
うどん屋のだしをご家庭で
味のお手伝い…
株式会社 テイスティ
〒581-0016 大阪府八尾市八尾木北 2-44
TEL：072-995-1515

購読お申し込みは24時間 フリーダイヤルでどうぞ
0120・14・1356

RISEISHA
履正社医療スポーツ専門学校
履正社スポーツ専門学校 北大阪校
www.riseisha.ac.jp